



民主党・市民クラブ行政視察 報告書（愛知県）

板橋区議会議員 田中やすのり

2009年9月15日

*Presentation*

## 視察目的と概要

### 【視察目的】

愛知県の愛知県航空宇宙産業振興ビジョンについての取り組みと課題を確認するとともに、板橋区での航空宇宙産業支援事業の課題を抽出し、さらなる施策充実に向けての方策を考察する。

### 【視察日程】

月日	時刻	行程
2009/9/7(月)	11:10	東京駅発
	12:51	名古屋駅着→愛知県庁へ
		[昼食]→昼食後、大野城市役所へ
	13:30	視察開始 ～航空宇宙振興ビジョンについて
	15:00	視察終了
		視察後、東京駅へ。その後解散

### 【視察議員】

高澤一基  
田中やすのり  
計2名

## 視察内容と見解

### 愛知県航空宇宙産業振興ビジョンとは？

航空宇宙産業は、関連する技術分野の裾野が広く、広範な産業分野への技術波及によってこの地域の産業の振興に寄与する重要な産業であり、本県の産業創造計画においても戦略的重点分野として位置付けられています。昨年、国産初のジェット旅客機の事業化が決定され、本県を拠点として開発が進む運びとなす等、本県を取り巻く航空宇宙産業に新しい動きがみられるようになりました。この新しい動きを踏まえ、この地域の航空宇宙産業の一層の振興を図るための本県の今後の取組方針を航空宇宙産業振興ビジョンとして取りまとめるため、「愛知県航空宇宙産業振興ビジョン」を策定した。

### 愛知県を取り巻く現状と動向

- 我が国航空宇宙産業の現状と動向
  - ・工業売上高は1.4兆円（平成18年）で、産業規模は欧米主要国に比して非常に小さい（米国の14分の1）。
  - ・複合材料等高度な技術力を背景に、航空機の国際共同開発参画比率を順次拡大（B767では15% → B787は35%）
  - ・平成16年以降民需が急拡大し、平成18年には初めて官需を上回る（航空機産業）
  - ・H-IIAロケットの打上げが民間移管（平成19年）され、海外の衛星の打ち上げの受注に初めて成功（平成21年1月）。
- 世界の航空機産業の市場動向
  - ・今後20年で世界の航空機需要は2倍以上に
  - ・中、小型機の需要拡大が顕著
- 中部地域の現状
  - ・中部地域に多くの航空機機体メーカー、宇宙メーカー、素材・部品メーカー、大学、研究機関が集積立地
  - ・高い航空機生産シェア（中部地域／全国＝約50%）
  - ・YS-11以来40年ぶりの国産ジェット旅客機MRJの事業化決定による中部地域の航空機産業振興の機運の高揚
  - ・宇宙分野でもH-IIA、H-II Bロケット、宇宙実験モジュール「きぼう」など主要プロジェクトに地域企業が参画



## 視察内容と見解

### 愛知県の課題

- ・ 研究開発インフラの整備（JAXAの誘致等）
- ・ 産学官連携推進体制の整備
- ・ 継続的・連続的な航空機開発サイクル及び販売体制の確立
- ・ 中小企業の新規参入（特に、認証の取得等が新規参入の障壁となっている）
- ・ 効率的な部品供給体制の構築（機体メーカーと外注先部品メーカー間での複雑な部品往復）
- ・ 人材育成（専門的教育機関の必要性等）
- ・ 海外サプライヤーとの競合
- ・ 受注変動への対応
- ・ 中部地域からの情報発信と県民、青少年の理解向上

### 振興の方向性

#### 1. 材料開発から飛行試験・開発・生産まで一貫して行われる地域としての強み発揮

- JAXAの誘致等航空機の研究拠点を整備することにより、これまでの産業集積も含め、当地域が材料開発から生産まで担うことのできる一貫体制を構築し、産業の総合力発揮を図る。
- 航空宇宙産業の振興に向けて地域の企業群、大学、研究機関、行政が有機的に連携し一体となった取組を可能とする「航空宇宙産業クラスター」を形成する。

※振興の方向性は次ページに続く

## 視察内容と見解

### 振興の方向性

#### 2. 航空機産業の裾野拡大と部品供給体制の質的変換

- 高度な技術力により部品の製造・加工を担う中小企業群を育成し、産業の裾野拡大を目指す。
- 高品質な部品や素材が迅速に供給できる体制・仕組み作りを目指す。

#### 3. 自動車産業等との相乗効果の発揮（コラボレーション、相互技術波及）

- 航空宇宙産業と他産業間における相互の技術波及を誘発し、地域の産業全体のレベルアップを図る。
- 各々の産業間の企業の相互参入の促進により、産業の安定的発展、企業経営の安定化を図る。

#### 4. 航空宇宙を大切にする風土づくり、地域づくり

- 当地域が航空宇宙産業のメッカであることなどについて県民の理解向上を図る。
- 県営名古屋空港や中部国際空港の活用も視野に入れた地域づくりを推進する。

### 視察を終えての所感

愛知県は、機体メーカーが位置する立地的な強みを活かして、MRJの開発をチャンスとして日本の航空産業の基幹的役割を果たしている。

板橋区は愛知県のように機体に関わる技術を提供していくことは難しいが、区内には有数の部品加工メーカー、合金加工メーカーが存在している。部品のサプライヤーとしての潜在的能力を有する企業は多く存在しており、板橋区はJISQ9000などの航空産業特有の規格取得を促進するなどしてしっかりとサポートを行っていくことが求められている。